

町特産品開発実施事業

自治体情報

岐阜県 輪之内町

人口 / 9,757人

標準財政規模 / 2,634百万円

担当課 経営戦略課

電話番号 代表 0584-69-3111

実施主体 輪之内町

関連ホームページ <http://www.town.wanouchi.gifu.jp/>

事業期間 平成22年度から平成25年度まで

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：3,233千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	3,233

施策のポイント

自治体独自で特産品開発に乗り出し、町職員の考案したレシピに関して民間事業者と製造販売に関して業務提携した。委託料は発生せず、必要経費は商品に貼付する町ロゴマークシール作製などの印刷製本費、食品衛生検査料、出店料などにとどめ、新しい業務提携のモデルを示した。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

特産品で町をPRしようと、平成20年9月に町民有志と町職員で構成される特産品開発プロジェクトチームを構成し、開発に取り組んできた。開発が進むにつれ、菓子（スイーツ）に特化する流れとなり、「輪之内スイーツ」という総称で各種商品を開発していくこととなった。その流れの中で町職員が考案した町産ハツシモ米を使ったアイス（「お米アイス」）、フクユタカ大豆を使ったプリン（「豆乳黒ごまプリン」）を第1弾として商品化することとし、製造販売する業者を探すこととなった。結果平成23年1月に、隣市のジェラート店と製造販売業務に関して覚書を交わす運びとなった。2月には町職員のレシピを参考に作られたコメと大豆のジェラート（商品名「豆乳リゾットジェラート」）が発売された。

2. 取組の具体的内容

民間業者と交わした覚書のとおり、商品に貼付する輪之内ロゴマークシール等の作成、各種食品衛生検査、各種イベントへの出店料などを負担する。また町内外の各種イベントに両者が協力して出店する。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

商品を販売することにより、輪之内町の名を広める。

4. 現在までの実績・成果

「輪之内スイーツ」の第1弾として売り出されたジェラートがメディアで取り上げられ話題となり、販売場所も当初の2箇所から、販売したいという申し出の事業所が現れ4か所に増えた。また、町の施策に刺激を受け、町内外の菓子店が奮起し、独自で商品を開発するようになった。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

2品のレシピを考案したにもかかわらず、製造販売をする事業所が見つからず思わぬ時間を費やした。しかし各種イベントで試食販売等する上で知り合った事業所に向けあい、受け入れてもらった。

6. 今後の課題と展開

「輪之内スイーツ」には、町産の農産物使用がキーとなるが、町には特徴となるような農産物が少ない。新しい主要農産物づくりを進める必要がある。